

北の逸品

会員企業が

こだわりを持って開発した製品を
 認証する「北のブランド」。
 その「逸品」の誕生について
 ご紹介します。



パイプの杭で固定した設置例。収集日以外は
 畳んで収納できるので、通行を妨げない



設置場所に合わせてサイズの見積もりも可能

軽量化と使いやすさを追求し、
 ゴミの管理が苦勞なくできる
クロー知らず
 ものつくり

朝のゴミ捨て場で、カラスに荒らされ、ま
 き散らかされたゴミを黙々と掃除する住
 民の姿。「いつも片付けている方の負担を
 どうか軽くできないかなと思ひまして...」。
 (株)石川技研工業設計課の北嶋悟さんが本
 品の開発を始めたのは、近所のそんな光景
 を見ていたことがきっかけだった。

同社は金属加工の専門工場として、農
 機具や工作機械などのパーツ加工を受注
 製作し、特にパイプの立体的な切断加工や、
 折り曲げ加工など優れた技術を持つ金属
 加工会社だ。ただし、消費者に直接届く
 商品を開発し製作することは、本品が初
 めての試みだった。

本品は、金属フレームにネットを張ったボ
 ックスで、ゴミ捨て場に設置する。未使用時
 は折り畳んで収納できるのが特長だ。試作
 時の課題は、軽量化だった。「ゴミ袋を持っ
 ていても、片手でふたが開閉できること。女
 性や高齢者でも折り畳めることが必要だ
 と考えました」と北嶋さんは説明する。注
 目した素材は軽くて強い農芸用鋼管(ヒニ
 ールハウスのパイプ)だった。細く、曲げると
 つぶれやすいパイプをつぶさず折り曲げられ

る同社の技術が軽量化を実現した。

本品は自社で設置工事やメンテナンスが
 できるよう受注販売のみの扱いとしている。
 使用する世帯数、設置場所などの条件に合
 わせ、微調整がきくのも受注販売の強みだ。

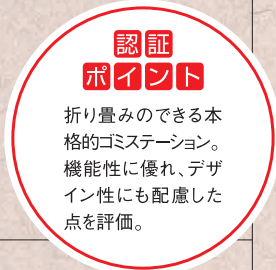
北嶋さんが本品にかける思いはもう一
 つある。「カラス除けのネットは、汚れると
 あまり触りたくないですね。使用しない
 時に雑にぶら下げてあると、街の景観は台
 無しです。ゴミ捨て場の使い方も雑にな
 る。管理する人の負担を考えると、みんな
 できいかに使う意識を持ちたいものです」。
 本品は札幌市の設置助成事業の対象機
 種となった。北嶋さんは現状に満足せずに、
 利用者の意見を取り入れて改良を続け、
 さらなる普及を目指している。

クロー知らず

【希望小売価格】
 2万2,050円～
 (容量220ℓタイプの場合で
 本体価格のみ、設置費別途。
 その他各種サイズあり)

【購入可能店舗】
 販売代理店(株)リバーストーン
 (TEL:011-661-1155)に
 お問い合わせください。

(株)石川技研工業
 札幌市西区発寒17条14丁目3-1
 TEL: 011-663-1714



http://www.sapporo-cci.or.jp/north-brand/ (北のブランド公式ホームページ)
 ●お問い合わせ/札幌商工会議所 部会・産業部 産業2課 TEL:011-231-1374